

各 位

武雄・杵島地区農業指導連絡協議会
杵島農業振興センター

「稲作情報（第10号）」について（送付）

このことについて、下記のとおり「稲作情報（第10号）」を送付しますので、業務の参考にしてください。

1. 気象概況

月	半旬	平均気温			最高気温			最低気温			降水量			日照時間		
		平年 (°C)	R5 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R5 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R5 (°C)	平年差 (°C)	平年 (mm)	R5 (mm)	平年比 (%)	平年 (hr)	R5 (hr)	平年比 (%)
7月	1	25.4	26.0	0.6	29.2	29.1	-0.1	22.4	23.4	1.0	90.3	127.0	141	16.3	2.7	17
	2	26.1	27.1	1.0	30.1	30.1	0.0	23.0	24.4	1.4	83.2	227.5	273	20.3	10.4	51
	3	26.7	28.3	1.6	30.9	31.7	0.8	23.5	25.5	2.0	61.9	35.5	57	24.2	16.4	68
	4	27.3			31.8			23.9			43.1			28.0		
	5	27.7			32.5			24.2			36.2			31.4		
	6	28.1			33.0			24.5			39.2			41.0		

○7月3半旬の平均気温は、平年に比べて1.6°Cほど高く、曇天傾向で推移した。

2. 水稻情報田の生育状況（調査日：7月18日）

項目 品種(設置場所)	年次	草丈 cm	茎数 本/m ²	主稈 出葉数L	葉色 SPAD	概 要
さがびより 6/22移植 武雄市橋町	本年値	45.9	290	8.9	41.3	<ul style="list-style-type: none"> 草丈は平年より高く、茎数は少ない。 主稈出葉数は平年より0.1葉少ない。 葉色は平年より淡い。
	平年値	43.8	320	9.0	42.6	
	平年比	105	91	-0.1	-1.3	

※夢しずくおよびさがびよりの平年値はH21～R4の平均値。

3. 管内の生育状況（7月18日時点）

- 1) 七タコシヒカリ：現在、糊熟期～黄熟期である。出穂盛期は6月29日～7月1日となり、積算温度による刈取り予想は7月29日～8月3日頃となる。
- 2) 夢しずく（普通期）：現在、穂首分化期～幼穂形成始期である。
6月4半旬以降曇天多雨の影響を受け、草丈が伸長し深水管理の圃場では軟弱徒長ぎみの生育である。
- 3) ヒノヒカリ、さがびより：現在、分けつ盛期～穂首分化期前である。

4. 今後の管理

1) コシヒカリ

(1) 水管理

「コシヒカリ」は、糊熟期～黄熟期です。

出穂期以後の水管理は、根への酸素供給を図るためにも常時湛水するのではなく間断灌水（潤土管理）を行う。登熟（米の充実）を良くするため、収穫1週間前までは黒乾～湿潤状態を保つ。

2) 普通期水稻

《共通》

◎移植後、気温は高く推移したことで雑草発生が早く、場合によっては除草剤の効果が十分発揮できていない圃場も確認されている。特に「ノビエ」や「ホタルイ」の発生の有無を確認する。

多発している場合、中後期除草剤により防除する（剤によっては収穫前日数に留意して使用する）

◎移植後の曇天多雨の影響を受けて、初期分けつが確保できず茎数不足の圃場も散見されるが、**中干し作業は、移植後35日～40日まで実施する。**

中干しの草丈の目安は、「夢しずく」が45～55cm、「ヒノヒカリ」は40～50cmの間が目安である。（茎数の多少はあるが、この時期以降の分けつ茎は穂にならないため。）いもち病が多発している圃場では、強い中干しは避けるようにする。なお、『中干し作業の効果と時期』については、稲作情報9号参照。

①夢しずく

- ・6月中旬に移植された「夢しずく」は、まもなく幼穂形成始期を迎え穂肥施用時期となる。
穂肥の施用に際しては、下記の穂肥診断基準に基づいて適期適量施用する。
- ・「夢しずく」は、幼穂が1～2mmになるまでは伸長が緩慢であるが、3mm以上になると急激に伸長する。穂肥施用時期が遅れないように注意する。

【表1 夢しずくの穂肥診断基準】

草丈 cm 幼穂形成始期時	葉 色		穂肥施用時期			
	群 落	SPAD	出穂前	幼穂長	穂肥施用量 (N成分:kg/10a)	
7.3 cm 以下	淡い	3.0 以下	34 以下	20～22 日	1mm	2.0kg/10a
	標準	3.0～3.5	34～38	18～20 日	2mm	1.5kg/10a
	濃い	3.8 以上	39 以上	穂肥は施用しない		
7.3 cm ～ 7.9 cm	標準	3.0～3.5	34～38	18～20 日	2mm	1.0kg/10a
	濃い	3.6 以上	39 以上	穂肥は施用しない		
8.0 cm 以上	穂肥は施用しない					

②ヒノヒカリ、さがびより

- ・中干し作業の時期をむかえる。なお、中干し作業に移行する際の草丈の目安は、「ヒノヒカリ」及び「さがびより」は40～50cmの間である。
中干し期間は5～7日天候や土壌の種類、漏水の程度などによって変わるが、圃場の硬さの目安は軽く足跡が付く程度で、小さなヒビが入るくらい。



中干し（黒乾状態）

土壌表面に小さなヒビが入るくらい
また、歩いて足跡が軽がつくが、抵抗なく歩ける硬さ。
写真は、情報田（さがびより）圃場を撮影。



令和5年産 水稲作付期間気象図
アメダス観測値(白石)

